

Lispユーザ会関西拠点の展開構想

関西Lispユーザ会(仮) 油谷知岐 (2016/11/06, Sun)

目的・活動内容

- 1 関西のLisp系言語(プログラミング言語)使用者の発掘と育成
- 2 関西からのユニークなAI(人工知能)応用技術の創発

問題意識 1

- 関西でLispユーザが少ない
- 関西のユーザが外部に出てこない

問題意識 2

- 関西ならではの発想を形にし実現していく集団を作りたい

解決法 1

- Lispプログラミングが困難であるという偏見の緩和
- Lispの面白さ・柔軟さの共有
- 気軽にLispを学べる環境の提供

解決法 2

- 関西で Lisp+AI に興味のあるユーザグループの立ち上げ
- 発想を形にする場の構築 (アウトプットの場の提供)

活動プロセス(予定)

Lispユーザ兼AI利用に
造詣の深い**講師役の準備**
(勉強会の開催準備)

Lispユーザ兼AI利用に
興味のある人材の発掘・育成
(勉強会の開催)

実践の中で産んだ成果物の
社会への**発信支援**
(成果物の商品化支援など)

Lispを用いたAI利用の**実践**
(ハッカソンの開催)

現在の状況

- ☆ 初期の講師となりうる人材の確保はある程度完了
- ☆ 勉強会・ハッカソンの開催場所も未定
- ☆ 勉強会の形式も考え中

キーワード

- CommonLisp
- 人工知能
- 関西発